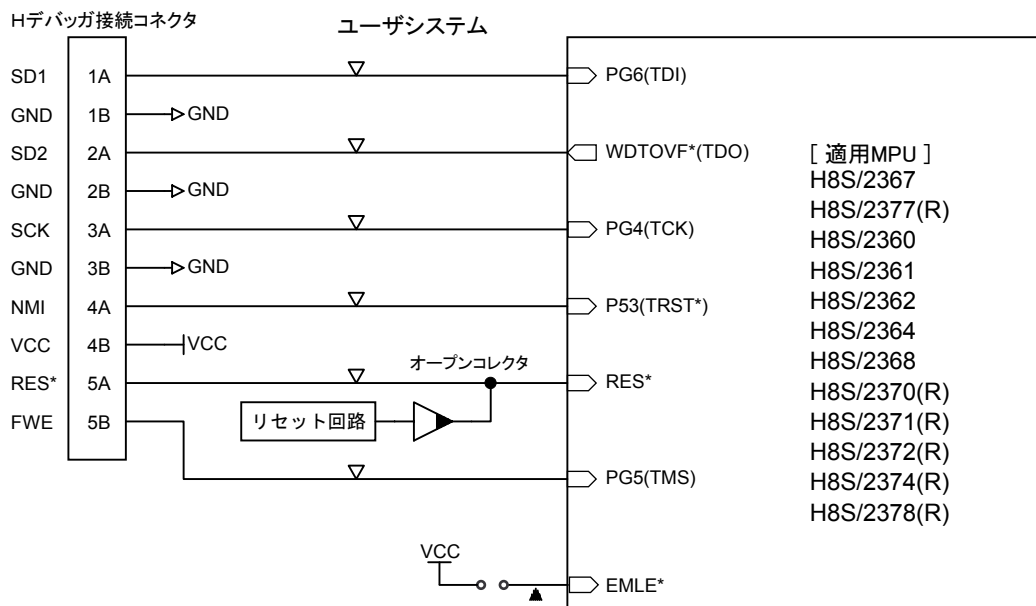


【 接続例16 】 H8S/236x,237x(R)の場合 (H-UDI接続)



- ▽印はプルアップ抵抗です、▲はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になるハードを設計して下さい。
- EMLEを切り替る回路(エミュレーション:HIGH 実動作:LOW)は、ユーザ側で用意して下さい。
- RES*信号はH-debuggerから制御(出力)していますので入力になります。